

発行所：石川自治センター

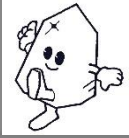
発行者：石川自治センター長 大竹富雄

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより

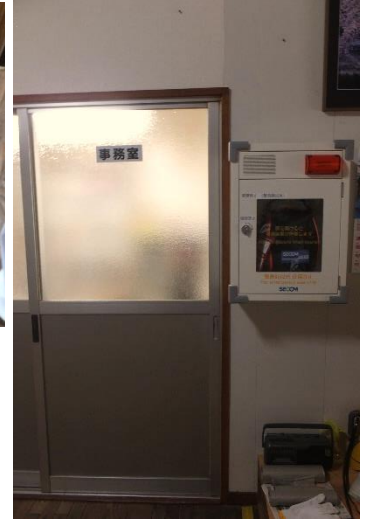


AED (自動体外式除細動器)設置

ました。AEDは、国の政策として多くの市民がAEDを使用し傷病者を救う考え方により平成16年7月以降、非医療従事者によるAEDの使用が推奨され、石川町でも公共施設中心に設置されています。AEDは、「突然の心停止」にたいして心臓に電気ショックを与え心臓を回復させます。高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心電図を解析し、除細動が必要なら否かを判断します。小型軽量で携帯にも支障がなく、操作は簡単に電源ボタンを押すと（又はふたを開けると）、機器が音声メッセージなどにより、救助者に使用方法を指示してくれます。安全に使用できます。石川自治センター



石川自治センターへAED(自動体外式除細動器)が13日、自治センター事務室入口脇に設置され



おまたせいたしました。まちなか朝市7.4オープンしました。

まちなか朝市(山田達也会長)は、令和2年7月4日新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて、例年行っていたオープニングセレモニーを中止、オープニングイベントも取り止めて、4日7時から11月21日迄の予定で始まった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、約2ヶ月遅れのまちなか朝市開催となった。梅雨の時期でもあり開始前から雨に見舞われた。感染症拡大防止の為に、マスク



では利用者等の方々の講習会を予定します。その際は是非、ご参加下さい。



着用や手袋の着用、大声での掛声販売の自粛、テント間隔を2M程開ける外、お客様へマスクの着用、手指の消毒、買い物時の他の人との間隔取る等、例年の朝市とは一変した雰囲気の中でのスタートとなりました。約8ヶ月ぶりの朝市が始まると、お目当ての店者へお客様が集まり遠慮しがちに会話をしながら楽しそうに買い物をしていました。今年は、10店の出店となりますが、多くのお客様にご来店頂きますよう頑張っていきます。開催に向け石川地区まちづくり委員会、役員関係者、ボランティアの方々にお世話になり開催出来ましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

着用や手袋の着用、大声での掛声販売の自粛、テント間隔を2M程開ける外、お客様へマスクの着用、手指の消毒、買い物時の他の人との間隔取る等、例年の朝市とは一変した雰囲気の中でのスタートとなりました。約8ヶ月ぶりの朝市が始まると、お目当ての店者へお客様が集まり遠慮しがちに会話をしながら楽しそうに買い物をしていました。今年は、10店の出店となりますが、多くのお客様にご来店頂きますよう頑張っていきます。開催に向け石川地区まちづくり委員会、役員関係者、ボランティアの方々にお世話になり開催出来ましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

コロナ禍で自粛が続き運動不足で体重増加の方も多いと聞きますが、石川自治センターでは、ミニトレーニングルームを7月中旬開設しました。器具は、フィットネスバイク、腹筋ローラー、腹筋マシン外です。一人で出来るスペースですが運動不足解消、筋力アップにご利用下さい。使用時間は、自治センター開館時間内です。火曜日、土曜日8時30分、17時15分迄。問合せは自治センターへ。



トレーニング ルーム開設

新田・石川寿大学学習会



ソーシャルデスタンスを取って学習会

16日(木)新田寿健康大学(小豆畑幸司委員長)は、7月学習会を新田ふれあいセンターで18名(女性9名、男性9名)が参加して行われた。学習会は、講師に小松広江氏(生活支援コーディネーター)を迎え「地域の見守り、支え合い活動について」をテーマに講演して頂いた。

支え合える地域づくりについては、2025年には、第一次ベビーブーム世代(1947年〜49年)が国民の4分の1が75歳以上になるといわれ、高齢者に対して支え手が足りなくなると、老々介護や介護難民、孤独死など

といった問題が出てくる、「2025年問題」です。地域の力が必要になります。今は元気でいるけれど、歳を重ねていくと「ちよつとした困りごと」が増えてきます。地域や行政との連携をとって、みんなで助け合いができる地域づくりが進んでいます。「向こう三軒両隣」困ったときは、お互い様の「助け合い」が出来る知己をみんなで目指したいと考え官民一体で取り組んでいます。又、高齢者の社会参加に期待しています。元氣な高齢者の方には、積極的に社会参加をしていただき、支援を必要とする高齢者の方を支える役割がきいていされています。支援を受ける側にもなり同時に、支援する側にもなります。このことにより社会的役割を持つことが「生きがい」となりそのことが「介護予防」にもつながります。介護問題は他人事ではありません。「我がこと」として考えて、いざ行くと、「誰もが、住み慣れた地域でいきいきと最期まで暮らしていくために、みんなと一緒に考えていきましよう」と呼びかけた。ありがと

ごございました。(生活支援体制整備事業より一部抜粋)

石川寿大学(永沼栄一委員長)は21日(火)石川自治センターで7月学習会34名(女性27名男性5名)が参加して行われた。講師に石川警察署巡査部長阿部綾乃氏を招き「高齢者が事件、事故に遭わないために」をテーマに、講演を頂いた。初めにさまざまな町物語のDVDで、高齢者の運転となりすまし詐欺について学んだ。歳を重ねると体の変化(柔軟性や肉体の違和感)により事故に繋がる事案が多いそう



真剣に聞く学級生の皆さん

だ。なりすまし詐欺では、電子マネーや劇場型、特殊詐欺が横行していることから、一人で悩まず、家族や警察に相談をしてくださいと

まちなか工房藤手芸教室(講師 矢内文子)は、8月21日(金)〜23日(日)福島市にありますコラッセふくしま福島県観光物産館1階イベントスペースに出店することにしました。新型コロナウイルス感染症防止の為、いしかわ桜フェスタ初め多くのイベント活動が中止となり、今年度初の出店活動です。山ぶどう、クルミ、あけび蔓のバック、財布、アクセサリー等販売。石川町のPR、教室活動報告。福島市方面へ、お出かけの際には是非お立寄り頂ければと思います。

呼びかけた。その他、運転者に向けては、運転事故に遭わないためにサポート車への理解の提案もされ「今の時代は、安全はお金で買える」と説明。歩行者については、夜間等の外出の際は反射材を身に付けること。自転車の方は、左側通行が基本だが、交通量の多い国道118号線等では歩道を利用することも出来るそう

だ。最後に、飲酒運転による事故で子供を亡くされた方の私記を朗読し阿部巡査部長の講演を終了した。ありがとうございました。

健康教室開催のお知らせ 新型コロナウイルスにより、開催等の計画等が滞っております。「ノルデック・ウォーキングで健康と仲間づくり」の座学を9月以降に行う予定です。詳細は後日お知らせいたします。

8月度行事予定 *感染症及び諸般の事情により変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
5	水	石川地区敬老会実行委員会 13:30~	モトガッコ
6	木	石川地区区長会(防災計画改定の件) 19:00~	石川自治センター
12	水	まちなか朝市-花市開催- 7:00~	石川自治センター
毎週	土曜日	まちなか朝市 7:00~1、8、 <u>12(水)</u> 22、29日	石川自治センター

8/12
(水)

お盆用品外販売
7時販売開始

花市

まちなか朝市特別開催

